

教科・「科目」	工業・「実習」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		4	実習	2	機械科履修科目

1. 目標と評価規準

目標	工業の各専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (25%程度)	工業の各分野に関する基礎的な技術について関心を持ち、その意義や役割の理解を目指して意欲的に取り組むとともに、工業の発展を図る創造的、実践的な態度を身につけている。その成果を的確に表現する技術を身につけている。		学習状況等
思考・判断・表現 (25%程度)	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、そこで得た知識や経験を基にした発表を行う能力を身につけている。		学習状況 意見発表等
技能 (20%程度)	工業の各分野に関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、実際の仕事を適切に処理する能力を身につけている。		ノート検査 課題探求等
知識・理解 (30%程度)	工業の各分野に関する基礎的な技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。		作業状況 レポート等
使用教材等	機械実習1、機械実習2、機械実習3(実教出版)		

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	(1)パソコン	①文書作成ソフトの基本 ②表計算ソフトの基礎 ③プレゼンテーションソフトの基礎 ④課題作品の製作実習 ア 課題の文書、計算表、プレゼンテーションの作成をする	・図や動画などを電子黒板に提示する。 ・問題の解決手順などを電子黒板に提示する。 ・学習用パソコンを用いて実技の手順などを写真や動画で記録し復習する。
	5	(2)溶接	①アーク手溶接の基本作業 ②半自動アーク溶接の基本作業 ③課題作品の製作実習 ア ボックスなどの課題を製作する	
	6			
	7	(3)NC旋盤	①NC旋盤の基本作業 ア プログラミングの学習をする イ NC旋盤の基本操作の学習をする ②課題作品の製作実習 ア 引張試験片のプログラム製作と加工実習をする	
2 学期	9			
	10	(4)特殊機械加工	①フライス盤、平面研削盤の基本作業 ア フライス盤の操作方法の学習 ②課題作品の製作実習 ア ブロックなどの課題を製作をする	
	11	(5)鋳造	①鋳造の応用実習 ア 砂型の応用製作について学習する ②課題作品の製作実習 ア プーリーやハンドルなどの課題を製作をする	
12				
3 学期	1	(6)機械加工	①普通旋盤の基本作業 ②精密な加工方法の学習 ア 精密な計測方法の学習をする イ 超硬バイトを使用した切削方法の学習をする ③課題作品の製作実習 ア 段付き丸棒などの課題を製作する	
	2			
	3			

備考	
----	--